

令和5年度予算のポイント

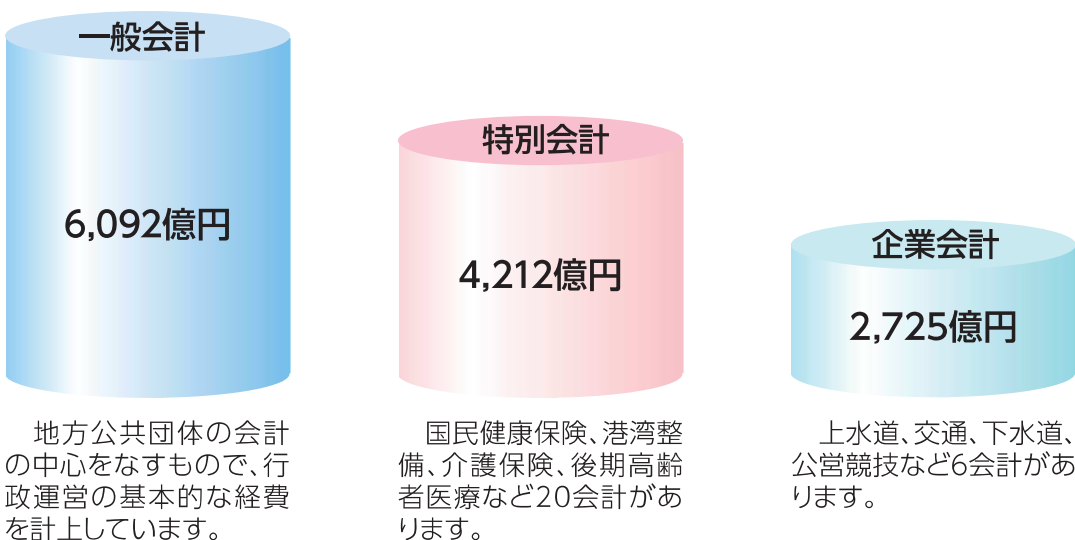
令和5年度予算は、北九州市が持つ3つのポテンシャルを最大発揮し、再び成長軌道に乗せ、人と企業に選ばれる都市の実現に挑戦していく「成長への再起動」予算です。

- 子ども・若者のエネルギーと挑戦を応援する「人」のポテンシャル
- アジアに近く、豊富な水源、強靱な土地を持つ「場」のポテンシャル
- ものづくり企業が育んできた分野と新たな産業が融合する「企業」のポテンシャル

「成長への再起動」に向けては、「市政変革」「新しい都市ビジョン」「成長戦略」を三本の矢として、明確な“北極星”となる方向性を市民の皆さまと共有し、“ベクトルを合わせて”取り組んでいきます。

予算総額は1兆3,029億円で、そのうち一般会計予算は6,092億円と前年度に比べて9億円の増となっています。

予算総額
1兆3,029億円



●令和5年度予算のポイント

●予算規模と対前年度伸び率

(単位:百万円、%)

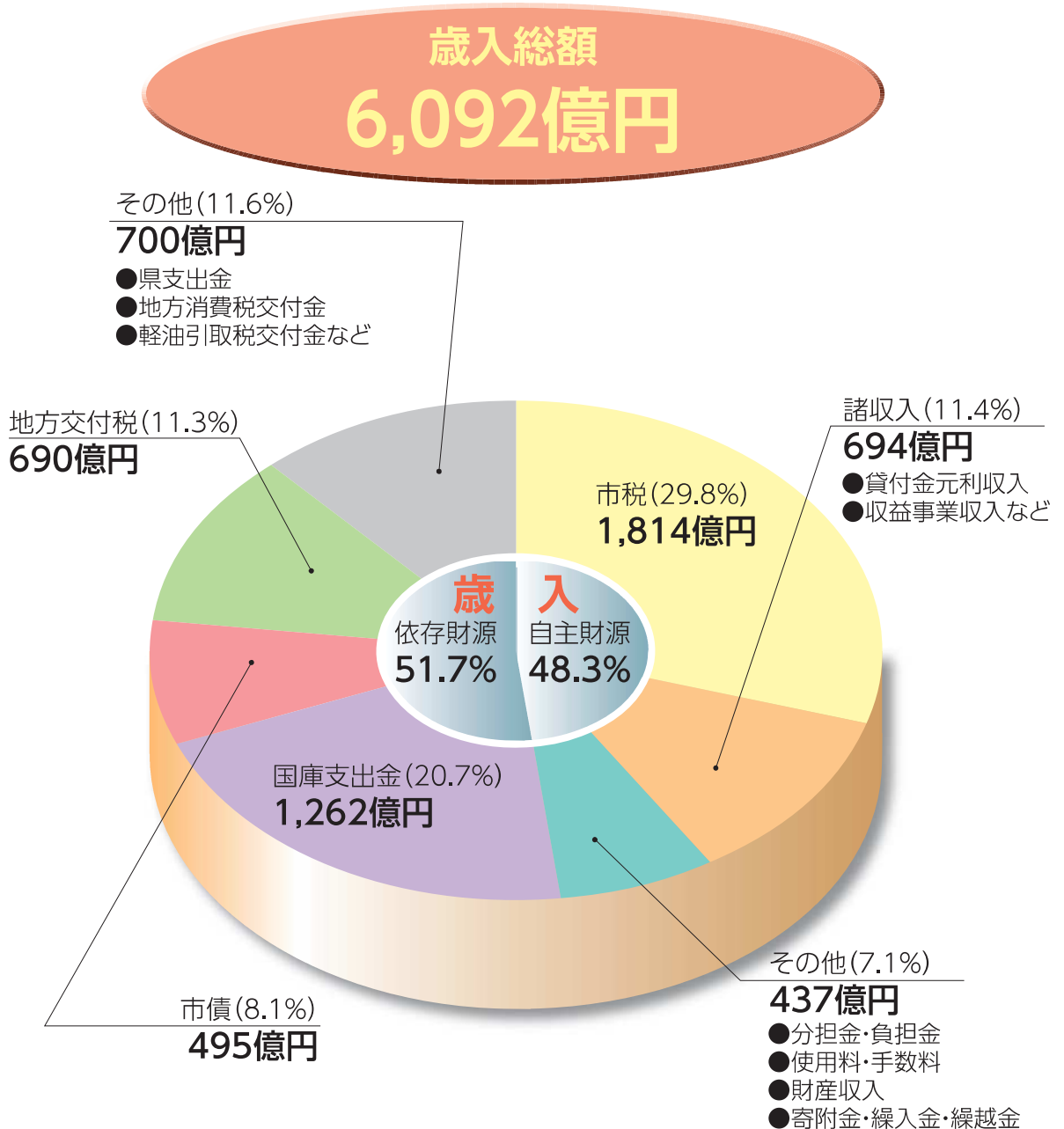
区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
一般会計	642,095	12.6	608,218	△5.3	609,161	0.2
特別会計	401,230	△5.4	395,485	△1.4	421,229	6.5
企業会計	269,538	20.1	262,785	△2.5	272,499	3.7
予算総額	1,312,863	8.7	1,266,488	△3.5	1,302,889	2.9

令和5年度一般会計予算の内訳

●歳入

歳入には市税をはじめ、地方公共団体の財政力に応じて国から交付される地方交付税、国や県の支出金、借入金となる市債などがあります。

市民のみなさんに負担していただく市税収入は1,814億円で、歳入総額の約3割を占めており、市がさまざまな仕事(施策)を進めるうえで重要な役割を果たしています。



令和5年度
一般会計予算の
内訳

●歳入

用語解説

■**地方交付税**…地方公共団体が標準的な仕事をするために必要な財源を保障する制度で、国税の一定割合を、合理的な基準により、地方に再配分するものです。その用途は制限されません。

■**依存財源**…国や県など他に依存する財源のことで、国庫支出金、地方交付税などが該当します。

■**自主財源**…地方公共団体が自ら調達できる財源のことで、市税、使用料・手数料などが該当します。

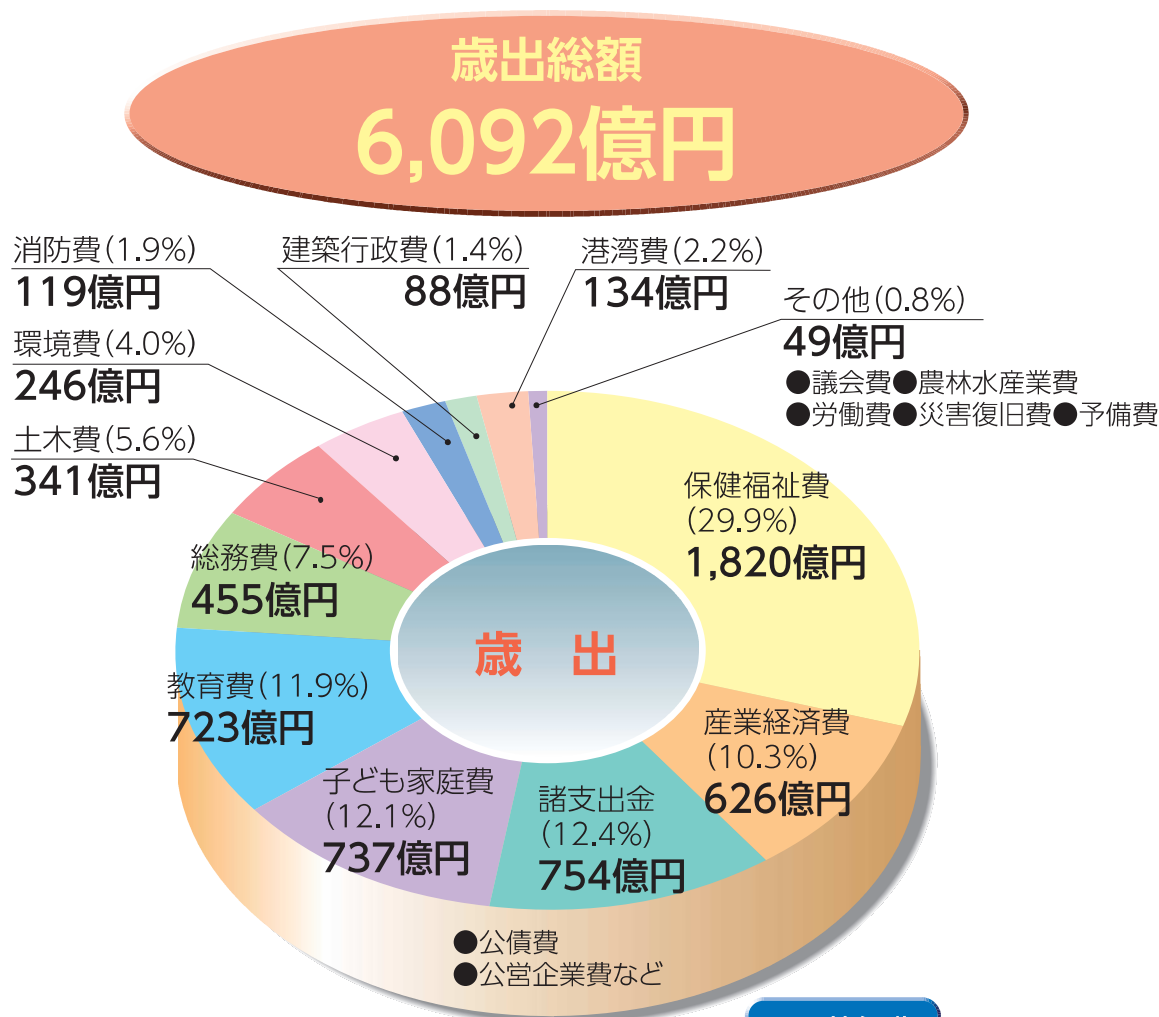
令和5年度
一般会計予算の
内訳

●歳出

●歳出

歳出を行政目的別に分類すると次のようになります。

高齢社会対策や障害福祉施策のための保健福祉費をトップに、産業振興などのための産業経済費、少子化対策や子育て支援のための子ども家庭費、教育環境の充実のための教育費、道路や公園整備のための土木費など市民生活の安定・向上を図るものが上位を占めています。



また、歳出を性質別に分類すると次のようになります。



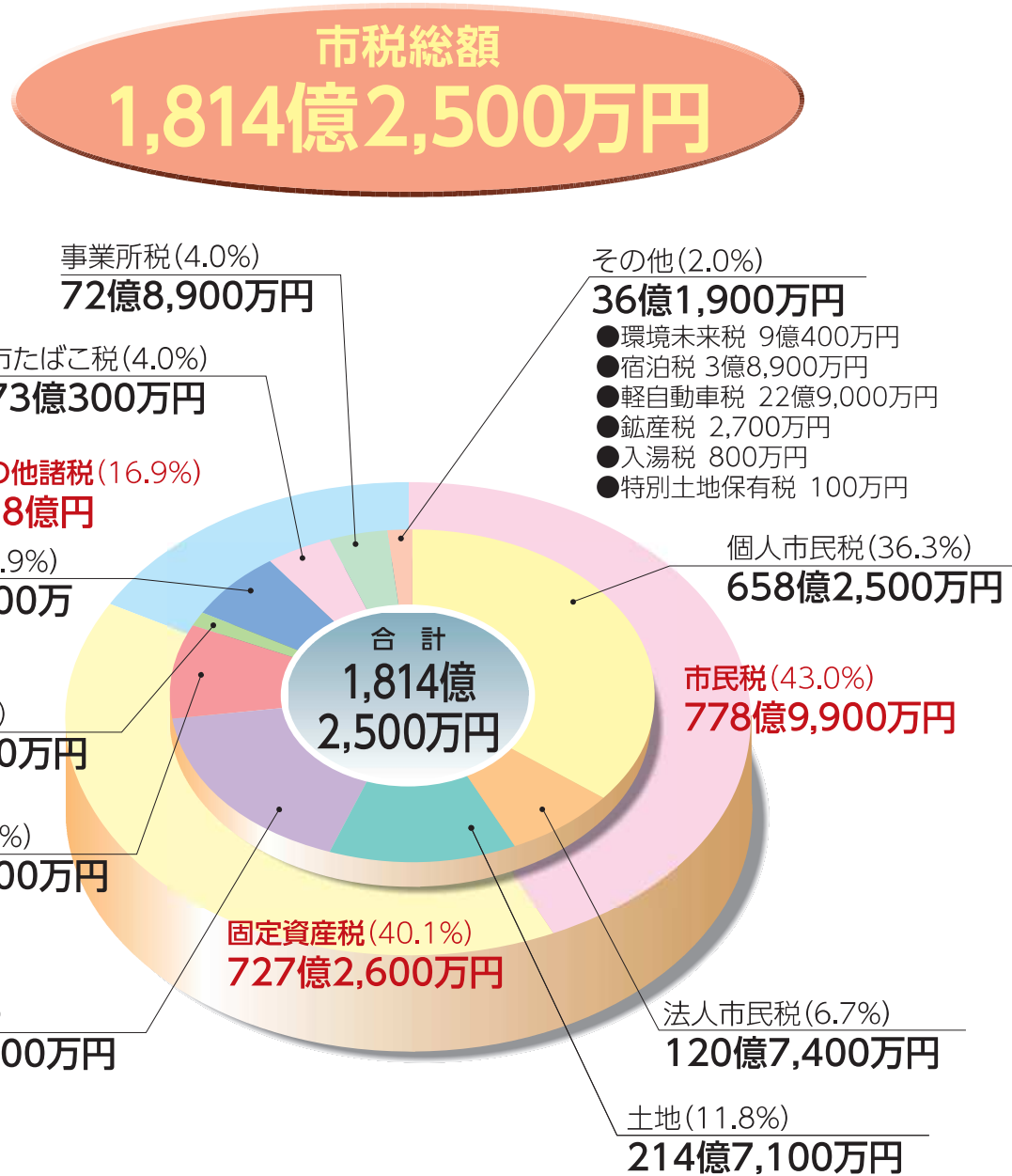
- 扶助費…医療費の助成や生活保護費、保育所などの運営費など
- 公債費…市債の元金、利子の支払いに要する経費
- 物件費…公共施設や市庁舎等の維持管理費(光熱水費、通信費、消耗品等)など
- 補助費等…公営企業や外郭団体、その他各種団体等に対する負担金や補助金など

用語解説

市税収入の内訳

令和5年度予算における市税収入の内訳は、下のグラフのとおりです。

市民税が43.0%(779億円)、固定資産税が40.1%(727億円)で、この二つで市税全体の約8割を占めています。



●市税収入の内訳

●予算規模と伸び率

(単位:百万円、%)

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
市民税	70,135	△6.7	75,489	7.6	77,899	3.2
固定資産税	68,886	△3.7	72,183	4.8	72,726	0.8
その他	29,400	△0.5	30,321	3.1	30,800	1.6
市税計	168,421	△4.4	177,993	5.7	181,425	1.9

市税1万円のゆくえ

令和5年度予算で市税がどのように使われているのか、市税総額を1万円に換算してみると次のようになります。

北九州市の予算について

●市税1万円のゆくえ

